



碓東小通信 培根



安中市立碓東小学校

令和6年12月23日

NO.15

今日は2学期の終業式でした。

先日、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞の報道を聞いて、あきらめずに訴え続けること、みんなで集まって大きな力を生み世の中を動かしていくことの大切さを感じました。今回の受賞は世界の多くの人が「核兵器は絶対に使ってはだめ」「戦争はだめ」という思いをもっている証拠だと思います。あの原爆投下がなければ太平洋戦争は終わらなかったと主張する人もいますが、私も被爆国民の一人として、広島・長崎の惨状を脅しの材料にするのではなく、もう二度と使わないための戒めの記憶にすべきと思います。

令和6年(2024年)が終わろうとしています。来年は2025年、太平洋戦争終結から80年です。この80年日本に戦争がなかったおかげで私たち戦争を知らない世代はとても幸せでした。だからこそ、この幸せが次の世代にもその次の世代にも続くよう、だめなものには「だめ」と言える大人でいたいと思いました。来年こそ全世界が平和になりますように。

学校保健委員会

12月5日(木)の5時間目に久しぶりに参集での学校保健委員会が開かれました。

「口腔の健康」をテーマに保健委員会の児童が他の5、6年生児童に向けて、調べたことを発表しました。

学校歯科医の小板橋先生やPTA役員の方も参加して下さり、大人や専門家の視点からも口腔の健康維持について意見が出されました。

発表を聞いて驚いたのは、今年も歯科検診のあと、受診のおすすめが全校の46%の児童に出されていて、そのうち54%は治療が済んでいるけれど、残りの46%は未治療という実態です。

虫歯や歯周病は放っておくと将来の成人病のリスクが高くなるようです。ぜひ今年度内に治療を済ませ、全身元気な碓東小の子どもたちになってほしいです。

安中市小学生駅伝競走大会アベック優勝!

12月7日(土)恒例の安中市小学生駅伝競走大会が行われました。本校からは女子2チーム、男子1チームが出場し、双方のAチームが優勝の快挙を遂げました。女子Bチームも6位入賞、補員レースである友好レースに出場した男女各1名の児童も2位と健闘し、本校の走力の高さを見せつけました。

持久走大会は、自分一人で戦いますが、駅伝にはチームで戦う楽しさがあって、出場した選手たちの心が一つになっていていいなあと感じました。

応援して下さった保護者の皆様や当日は出場しなかったけれど一緒に練習を続けてきてくれた子供たちにも感謝です!

今年最後の流水池整備作業

12月8日(日)の9:00から、今年最後の流水池整備作業が行われました。

流水池の作業は年に3回ありますが、今回の「落ち葉さらい」の作業が一番たいへんです。まずは、子供たちが思わず飛び込みたくなるほど森の中に積もった落ち葉を片付け、その次に小川や池の中に入っている落ち葉をさらいます。さらった落ち葉にはエビや虫や貝がいっしょにくっついているので、それらは手作業で確認しながら水の中に戻していきます。ザリガニもいっしょに上がってきますが、これは環境を壊す外来種生物としてバケツに集めて、処分します。

本当にたいへんな作業ですが、地域の人たちとの良いふれあいの場となり、また一緒に参加した子供たちにとっては環境保全を学ぶ場にもなりました。



表彰および碓東小児童の活躍

個人情報のため掲載を控えます

本校の子供たちが本当によく頑張った令和6年度の2学期でした。全児童の通知表「あゆみ」に目を通しましたが、すべての児童が1学期よりずっと成長していることがとてもよくわかりました。保護者の皆様や地域の皆様にもたくさんご支援いただき、子供たちとともに私たち職員も充実感の中で過ごすことができました。ありがとうございました。

年が明けたら、いよいよ今年度の集大成である3学期です。全職員で力を合わせ、感動的な学年末となるよう、がんばります。良いお年を・・・。

蛇足：先日ある学年児童と過ごした時に、子供たちがあまりにもおせち料理の名前を知らず、ちょっとびっくりしました。お正月は日本の代表的な文化です。食べ物や遊び、行事などから日本文化を感じられる年末年始になると良いですね。